



発行 三重県消防職員協議会  
 編集 自治労三重県本部消防対策委員会  
 住所 〒514-8588 三重県津市栄町2丁目361  
 三重地方自治労働文化センター内  
 電話 059(227)3295

### じちろうマイカー共済

契約者=組合員で家族の車も加入できます。もちろん、割安な職域掛金も団体割引15%も適用。詳しくは、単協担当者を通じて県支部まで

# 30周年記念シンポジウムを開催

令和7年7月5日(土)

津市の三重県総合文化会館小ホールにおいて、「消防行政サービスの向上を目指して！」をテーマとして、消防の広域化の実例をもとに消防職員の働き方などについて理解を深めるシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、三重県消防職員協議会の横山会長の挨拶の後、全日本自治団体労働組合三重県本部の原田中央執行委員長、全国消防職員協議会の須藤会長や一見三重県知事など多くのご来賓にご挨拶をいただき、盛大に開会しました。

た。また、パネリストには消防行政に精通した関西大学社会学部安全学部の永田尚三教授と九州大学大学院法学研究科の嶋田暁文教授をお招きしました。発表では、県内外から合計5名の現役消防職員の方をお招きし、これまでに消防の広域化に至った実例や合併後に起きた変化などについて発表いただきました。シンポジウ



発表の様子



挨拶を行う横山会長



パネリストの永田教授と嶋田教授

ムの最後に永田尚三教授からは、「各地域の多様性もあるため、広域再編がすべてだという考え方が正解ではない。今後、三重県においては、通信指令業務の共同運用の流れが落ち着いた際に再び消防の広域化の議論が始まる可能性はある。今のうちからそれぞれが考えておく必要がある」とのコメントをいただきました。また、嶋田暁文教授からは、「各市町村の財政部

局から負担軽減を目的とした消防の広域化が進められていく可能性もある。今後、署所の再編が広域化の目的であれば、一部事務組合の方式が適しているが、そうでないのであれば、連携協約などの他の手段を追求する必要がある。新しいニーズに対応できるような見直しを図っていくことが重要である」とのコメントをいただきました。最後に全国消防職員協議会の川北研人事務局長(四日市市消防職員協議会)から「三重県では通信指令業務の共同運用が進んでおり、おそらく、今後10年から20年は組織的な広域化の可能性は低いが、

南海トラフや首都直下型地震の国難級の災害が発生した際に、国主導で一つの流れを作ってくる可能性もある。まだまだ先だからではなく、今後も引き続き、考えていく必要がある、働き方や労働条件を整えて、現場の声を届けることができるのは消防職員協議会しかない。今後も共に頑張りましょう」とのコメントをいただきました。閉会しました。

来場の皆様には今後の三重県内の消防本部が向かう行先について、それぞれが考える機会を作ることができたのではないかと思います。

### 連絡事項

- ・三重県消防職員協議会第31回定期総会については、令和7年10月11日(土)に名張市の名張市防災センター2階防災研修室で開催予定です。また、定期総会に併せて学習会も開催予定です。
- ・三重県消防職員協議会の日当支給額を変更します。

これまで、対面での会議参加は2,000円、Webの際は追加で1,000円～2,000円が支給されていましたが、令和7年9月以降は一律2,500円の日当支給に変更となります。



県との意見交換会

令和7年7月24日(木)に津市の三重県総合文化センター棟小会議室において、三重県医療保健部政策課と三重県消防・保安課との

# 県との意見交換会を開催

意見交換会が開催され、三重県消防職員協議会からは、横山会長以下5名が参加しました。また、日頃からお世話になっている三重県議会議員の田中智也氏にも同席いただき、各単協から提出された意見を中心に意見交換が交わされました。この意見交換会は、今回で3回目の開催となります。各単協から提出された合

計5つの意見について議論が交わされました。県側から明確な回答を得ることは現時点ではできませんでしたが、日々、現場で活動する我々、消防職員の思いを三重県医療保健部医療政策課と三重県防災対策部消防・保安課に伝えることができ、関係構築ができたと思います。三重県消防職員協議会は今後も、定期的に県との意見交換会を開催し、顔の見える関係性の構築に努めてまいります。

## 各プロジェクトチームの動き

### 組織拡大委員会

組織拡大委員会では、7月17日(木)に第4回の会議が行われ、5月から6月にかけてのオルグ活動の報告や来年度はオルグの重点強化地域を定めて活動していくことが話し合われました。また、協議会活動に興味を示してくれた未組織消防本部に対し、追加でオルグ活動を実施しました。今後とも各未組織消防本部の市職労と連携してオルグ活動を実施していきます。

### 組織強化委員会

6月19日(木)にWebにて章駄天講師によるドア開放の講義が行われ、合計66名が参加しました。また、4つの未組織消防本部からも参加があり、オルグ活動も兼ねた実りある講習となりました。また、令和7年7月24日(木)に津市の三重県総合文化センター文化会館棟小会議室において、開催された、三重県医療保健部医療政策課と三重県防災対策部消防・保安課との

## 第3回執行部会及び第4回役員会を開催

令和7年8月5日(火)に津市の三重県地方自治労働文化センターにおいて、第3回執行部

会及び第4回役員会が開催され、横山会長以下7名の執行部役員と5人の常任委員が出席し、各プロジェクトチームの活動報告や次年度の役員



第4回役員会

### 消防行政研究会

令和7年7月5日(土)に津市の三重県総合文化会館

意見交換会の意見集約等を行い、意見交換会当日に向けた準備を行いました。

小ホールにおいて、開催された三重県消防職員協議会30周年記念シンポジウムの準備等を行ったほか、引き続き、用語集の改版作業を進めています。